

長沼町産のブロッコリーを世界へ輸出し生産者の所得向上へ！ JAながめま青果集出荷施設(長沼町)



【組織等の概要】

- JAながめま青果集出荷施設(令和3年から稼働)
- 所在地: 北海道夕張郡長沼町東3線北2
- 輸出品目: ブロッコリー(生食用)



【輸出取組の経緯】

- ◆ 生食用ブロッコリーの国内自給率は上がってきており、7月は特に生産量が増加している。北海道で1番収穫量が多い時期のため販売単価は低下する。
- ◆ このため、国内販売のほかに、国産品の供給過剰期の販売価格の確保と農業所得の向上のために、輸出に取り組むこととした。

【取り組む際の課題と対応方法】

- ◆ ブロッコリーに1匹でも虫が混入すると出荷停止となり、輸出ができなくなる。
⇒ 農家からJAに出荷する際は全ての葉の摘み取りを行い、JA職員によるチェック等、細心の注意を払っている。

【輸出の実績】

- ◆ 平成30年度: シンガポールへ初めて輸出
- ◆ 令和4年度: 台湾への輸出を開始
- ◆ 令和5年度: 海上輸送での大口の輸出に成功
- ◆ 令和6年度: 継続して輸出に取組み、輸出数量を増加させている

年度	輸出数量 (発泡スチロール数)
令和4年度	986ケース
令和5年度	986ケース
令和6年度	2,066ケース
令和7年度以降(目標)	3,000~5,000ケース

【大型製氷機でフレーク氷を製氷】



粒状の氷よりもブロッコリーの隙間に入りこむため、長く鮮度を保つことが可能！

【今後の展望】



生産者の所得向上を第一に考え、国内外の動向に注視しながら取り進めていきたい。



【収穫した当日に集荷場へ】



【予冷库で1日冷やす】



【フレーク氷を発泡スチロールに詰める】



【蓋を閉めて出荷！】